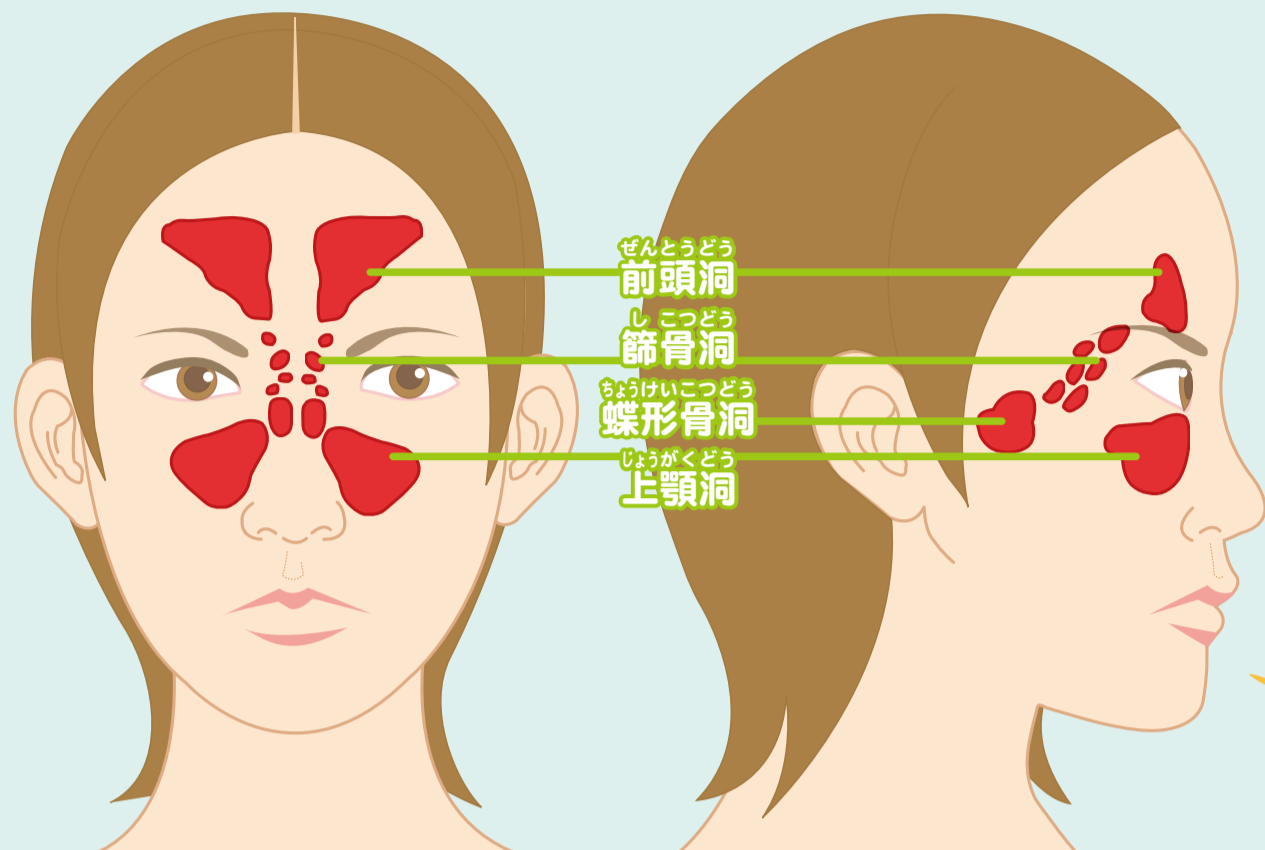


インタープレス
健生 ニュース

鼻風邪が2週間以上
続くときは要注意

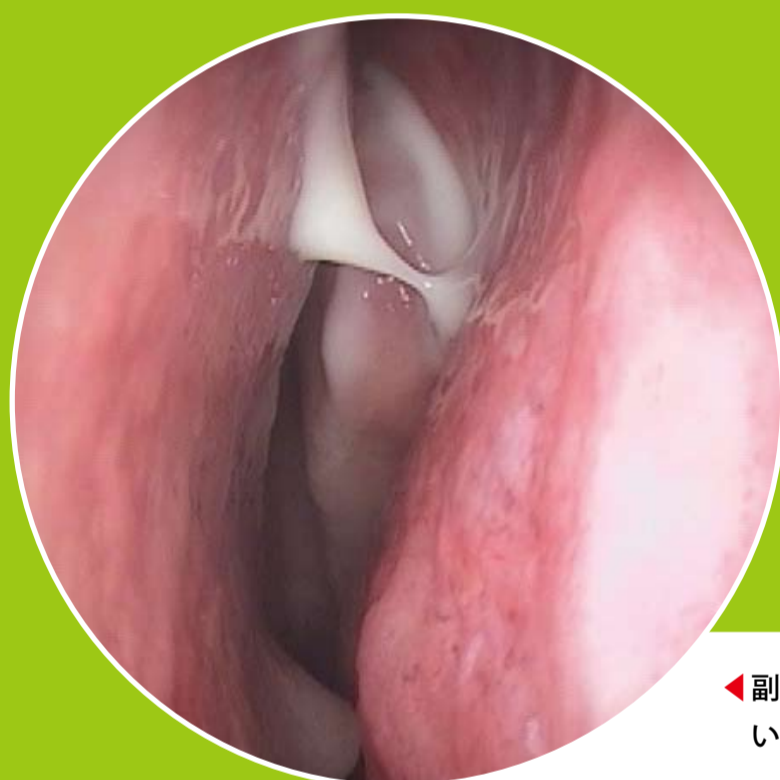
副鼻腔炎

副鼻腔炎は**黄色い粘り気のある鼻汁**や、炎症箇所によって起こる**強い痛み**が特徴的な症状です。



副鼻腔は鼻や目を取り巻くようにしてある大小いくつかの骨の空洞で、これらは鼻腔につながっています。

急性副鼻腔炎



- 発熱や頭痛
- 倦怠感
- 鼻づまり
- 黄色い鼻水が大量に出る

◀副鼻腔から鼻腔へ鼻汁が出ている状態

風邪をひいたときの急性鼻炎に引き続き、粘膜の炎症が鼻腔から副鼻腔に広がることが原因で起こります。

急性副鼻腔炎の時点で完全に治しましょう！

急性副鼻腔炎を何度も繰り返しているうちに、慢性副鼻腔炎になってしまうおそれがあります。そのようにして急性副鼻腔炎が完全に治りきらずに再発するうちに炎症が悪化するなど、悪循環を繰り返してしまいます。



▲薬の内服などで治療するほかに、規則正しい生活を心掛けましょう

慢性副鼻腔炎



- 粘っこい鼻汁
- 鼻づまり
- 嗅覚異常
- 鼻汁がのどにまわり、のどの炎症や気管支炎が起こる

◀慢性副鼻腔炎が悪化し、鼻茸(ポリープ)ができている状態

多くは急性副鼻腔炎が慢性化したものです。その他の原因は複雑で、遺伝的体質、アレルギーなどいくつかあります。

鼻茸とは？

慢性副鼻腔炎になると鼻の中に鼻茸ができる場合があります。これは副鼻腔の粘膜にできる腫瘍で基本的には良性ですが、大きくなったり数が増えたと鼻づまりの原因になります。



▲頭が重い、注意力散漫などの神経症状を引き起こす原因にもなります

なるべく早く耳鼻咽喉科で定期的に治療を受け、症状が重症化しないようにしましょう。

健康豆知識

むし歯が副鼻腔炎の原因に！

上顎の奥歯の根の先が、副鼻腔でもっとも大きな空洞である上顎洞の近くにありま。そのため歯や歯周組織の炎症などが上顎洞に移行しやすく、むし歯を治療せずに放置していると細菌が上顎洞に入り炎症を起こします。また同じように歯周病、抜歯などが原因で細菌が入り、炎症が起こることもあります。